

届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

高知工科大学 システム工学群、環境理工学群、情報学群

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 高知工科大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

部署・役職 企画広報部長

氏名 フクダ ナオフミ
福田 直史

e-mail fukuda.naofumi@kochi-tech.ac.jp

部署・役職 企画広報部 主事

氏名 イセ ユキヒロ
伊勢 幸広

e-mail ise.yukihiro@kochi-tech.ac.jp

電話番号 0887-53-1110

(夜間) 0887-53-1110

F A X 0887-57-2000

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

— 書類目次 —

	Page
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	
2-1 システム工学群	8
2-2 環境理工学群	16
2-3 情報学群	22
3 施設・設備の整備状況, 経費 (省略)	28
4 既設大学等の状況 (省略)	29
5 教員組織の状況 (省略)	
5-1 システム工学群	30
5-2 環境理工学群	43
5-3 情報学群	53
6 その他全般的事項	
6-1 システム工学群	62
6-2 環境理工学群	66
6-3 情報学群	70

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 高知工科大学
(H21.1.9 設置者変更認可申請書を提出。H21.3.19に認可。)
~~学校法人~~ 高知工科大学

(2) 大学名

高知工科大学

(3) 大学の位置

〒782-8502
高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(トオゴウ キヨシ) 十河 清 (平成20年4月)	(オカムラ ハジメ) 岡村 甫 (平成21年4月)	設置者変更に伴う 理事長の変更 (21)
学 長	(サクマ タケト) 佐久間 健人 (平成20年4月)		
システム工 学 群 長	(チョウノ シゲオミ) 蝶野 成臣 (平成21年4月)		
環境理工 学 群 長	(ナルサワ タダシ) 成沢 忠 (平成21年4月)		
情 報 学 群 長	(イワタ マコト) 岩田 誠 (平成21年4月)		

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成19年度開設の場合（平成22年度までの4年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システム工学群 学士（工学）	4 年	170 人	4 年次 人	688 人	
環境理工学群 学士（理工学）	4	90	3	366	
情報学群 学士（情報工学）	4	100	3	406	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

〈システム工学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	(-) 170	()	()	()	1.12 倍	
	志願者数	(-) 2504	()	()	()		
	受験者数	(-) 2467	()	()	()		
	合格者数	(-) 310	()	()	()		
B	入学者数	(-) 192	()	()	()		
	入学定員超過率 B/A	() 1.12	()	()	()		

〈環境理工学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	(-) 90	()	()	()	1.08 倍	
	志願者数	(-) 1367	()	()	()		
	受験者数	(-) 1348	()	()	()		
	合格者数	(-) 180	()	()	()		
B	入学者数	(-) 98	()	()	()		
	入学定員超過率 B/A	() 1.08	()	()	()		

〈情報学群〉

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	(-) 100	()	()	()	1.10 倍	
	志願者数	(-) 977	()	()	()		
	受験者数	(-) 962	()	()	()		
	合格者数	(-) 163	()	()	()		
B	入学者数	(-) 110	()	()	()		
	入学定員超過率 B/A	() 1.10	()	()	()		

- (注) 1 () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- 2 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

〈システム工学群〉

学年 \ 対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1年次	[-] 192	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[-] 192	[]	[]	[]	

〈環境理工学群〉

学年 \ 対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1年次	[-] 98	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[-] 98	[]	[]	[]	

〈情報学群〉

学年 \ 対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1年次	[-] 110	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[-] 110	[]	[]	[]	

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

〈システム工学群〉

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	(累積)計 [0] 192	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 192人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人		
(主な退学理由)			
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人		
うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人		
(主な退学理由)			

〈環境理工学群〉

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	(累積)計 [0] 98	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 98人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
(主な退学理由)			

〈情報学群〉

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	(累積)計 [0] 110	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 110人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人		
(主な退学理由)			
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	%
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人		
うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人		
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

2-1 <システム工学群>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	検証：日本の都市	1前・後		1								
	都市問題	1前・後		1								
	人権問題	1前・後		1								
	日本国憲法	1前		2								
	地域共生概論	1前		2								
	文化としての戦略と戦術	1後		2								
	現代日本社会における音楽											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2								
	歴史と人間	1・2・3後		2								
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2								
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2								
	21世紀の社会学	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	基礎心理学	1前・後		2								
	教育社会学	1・2・3後		2								
	技術者倫理	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	問題発見と解決の技法	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								
	哲学への誘い											放送大学科目の閉講に伴い科目変更及び科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	自己を見つめる	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								
	社会福祉入門	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人文地理学	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	世界の名作を読む	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人類の歴史・地球の現在	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	道徳教育論	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
21世紀の女性と仕事	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)	
日本語表現法	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	初歩のアラビア語	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加(21)
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	体育理論	1前・後		1								
	体育実技	1前・後		1								
	文化としての日本のうた	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	考古学研究	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	人文科学特別講義 1	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	知的財産権と特許	3前		2								
	国際協力フロンティア	1後		2								
	技術と安全	2前		2		1						
	Reading/Listening 1	1前		1								
	Reading/Listening 2	1前		1								
	Science English	1後		1								
	Science Lab	1後		1								
	Thinking in English 1	2前		1								
	Thinking in English 2	2前		1								
	Science Reading1	2後		1								
	Science Reading2	2後		1								
	Global Citizen	3前		2								
	Business/TOEIC English	3前		2								
	Technical Reading	3後		2								
	Technical Presentation/Writing	3後		2								
	スタディスキルズ 1	1前		2								
	スタディスキルズ 2	1後		1								
	キャリア・プラン 1	3通		1								
	キャリア・プラン 2	3後		1								
チャレンジポイント 1	1・2・3通		1									
チャレンジポイント 2	1・2・3通		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	教養の物理学 1	1前		2								
	教養の物理学 2	1前		2								
	現代化学の基礎	1後		2								
	生命科学	1後		2								
	口腔科学	1前		2								教育課程充実のため科目を追加(21)
	応用化学概論	2後		2								
	ヒトの生物学	2後		2								
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2								「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2								
	身近な統計	1・2・3後		2								
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2								
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加(21)
	バイオサイエンスで豊かな暮らし											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	生物学の歴史	1・2・3後		2								
	変化する地球環境	1・2・3後		2								
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2								
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2								
	基礎数学 1	1前		1								
	基礎数学 2	1前		1								
	基礎数学演習	1前		1								
	数学 1	1前・後		2								教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学 2	1前・後		2								教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学 3	1前・後		2								教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学 4	1前・後		2								教育課程充実のため開講時期を変更(21)
	数学 5	2前		2								
	数学 6	2前		2								
	数学 7	2後		2								
数学 8	2後		2									
コンピュータリテラシー	1前		2		2		1					
情報科学 1	1前		2		1	1						
情報科学 2	1後		2		1	1						
情報科学 3	1後		2			2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 (工学系共通)	力学基礎	1前		2		1					内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	力学	1前		2		1	1				
	電気回路基礎	1前		2		1	1				
	地域活性化システム論 I										
	地域再生システム論 I	1前		2							
	工学概論	2前		2		4	1				
	電磁気学基礎	2前		2		1	1				
	電子回路基礎	2前		2		1					
	地球科学概論	2前		2							
	技術開発概論	2前		2							
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2		1					
	インターンシップ	3後		2		1					
地域再生システム論 II	3後		2								
専門科目 (専門基礎科目)	デザイン基礎	1前		2			1				
	運動と振動	1後		2		1					
	材料力学	1後		2		1					
	CAD・図学	1後		2		2	1				
	専門ガイダンス	1後		2		23	8	1			
	システム工学実験	1後		2		8	4				
	光学基礎	1後		2		1					
	熱力学	2前		2			1				
	流れの科学	2前		2		1					
	計測基礎	2前		2			1				
	制御基礎	2前		2		1					
	景観デザイン	2前		2		1					
	測量学 1	2前		2		1					
	企業見学	2後		1		3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目 (機 械 系 科 目)	機械システムデザイン1	2前		2		1						
	機械加工学	2前		2		1						
	固体力学1	2後		2		1						
	機械力学1	2後		2			1					
	コンピュータ制御	2後		2		1						
	メカトロニクス1	2後		2			1					
	機械システムデザイン2	2後		2		1						
	シミュレーション工学1	2後		2		1						
	機械工学概論	2後		2		1						
	ロボット工学概論	2後		2		1						
	宇宙工学概論	2後		2			1					
	制御工学1	3前		2		1						
	データ解析と信号処理	3前		2		1						
	流体力学	3前		2		1						
	エネルギー工学	3・4前		2			1					
	ロボット運動学	3後		2		1						
	自動車工学	3後		2		1						
	航空力学	3後		2								
	機械システム工学基礎実験	2後		2			1		1			
	固体力学2	3前		2		1						
	機械力学2	3前		2		1						
	創造設計1	3前		2		1						
	シミュレーション工学2	3前		2			1					
	テクニカルスキルズ	3前		2			1					
	材料・強度設計	3前		2		1						
	伝熱工学	3後		2			1					
	制御工学2	3後		2		1						
	工学モデル論	3後		2		1						
	人工知能	3後		2		1						
	マシンビジョン	3後		2		1						
	コンピュータ応用解析	3後		2		1						
	コンピュータ応用設計	3後		2		1						
	軽構造工学	3後		2		1						
	脳情報学	3後		2			1					
	機械英語	3後		2		1						
	先端機械特別講義1	3後		1		1						
	創造設計2	4前		2		1						
	形状創出加工学	4前		2		1						
	メカトロニクス2	4前		2			1					
	ロボット制御工学	4前		2		1						
宇宙計測工学	4前		2			1						
誘導制御	4前		2		1							
先端機械特別講義2	4後		1		1							
卒業研究	4通		8		8	3	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (電子・光系科目)	通信概論	2前		2		1						
	情報処理概論	2前		2		1						
	通信処理概論	2後		2		1						
	電磁気学	2後		2			1					
	回路理論Ⅰ	2後		2		1						
	電子物性基礎	2後		2		1						
	アルゴリズムとデータ構造	2後		2			1					
	論理回路	2後		2								
	半導体工学	3前		2		1						
	電子デバイス	3前		2		1						
	計算機アーキテクチャ	3前		2								
	回路理論Ⅱ	3前		2		1						
	電磁波・光波	3前		2		1						
	信号解析	3前		2			1					
	アナログ回路	3後		2		1						
	デジタル集積回路	3後		2		1						
	デバイスプロセス	3後		2								
	光デバイス	3後		2		1						
	光通信システム	3後		2		1						
	電子・光システムセミナー1	2後		1		7	3					
	電子・光システム工学実験1	2後		2		3	1					
	プログラミング演習	2後		2			1					
	電子・光システムセミナー2	3前		2		6	3					
	電子・光システム工学実験2	3前		2		6	3					
	アナログ・デジタル通信	3前		2								
	量子力学基礎	3前		2								
	電力システム概論	3前		2								
	生体情報工学	3前		2								
	電子工学セミナー1	3後		2		2	2					
	電子工学実験1	3後		2		2	2					
	光エレクトロニクスセミナー1	3後		2		4						
	光エレクトロニクス実験1	3後		2		4						
	映像音響メディア	3後		2								
	画像処理	3後		2								
	通信方式	3後		2								
	数値計算法	3後		2								
	コンピュータグラフィックス	3後		2								
	エネルギービーム工学	3後		2								
	量子と光	3後		2								
	電子工学セミナー2	4前		2		2	2					
電子工学実験2	4前		2		2	2						
光エレクトロニクスセミナー2	4前		2		3							
光エレクトロニクス実験2	4前		2		3							
VLSIシステムデザイン概論	4前		2		1							
通信機器概論	4前		2		1							
ウェブメディア	4前		2									
電波法規	4前		2									
卒業研究	4通		8		5	3						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (建築・都市デザイン系科目)	構造の力学1	2前		2		1						
	コンクリート工学	2前		2			1					
	まちづくり計画	2前		2		1						
	鉄筋コンクリート	2後		2		1						
	社会システム工学概論	2後		2		1						
	プロジェクトマネジメント	2後		2		1						
	建築構造設計	2後		2			1					
	住宅設計	2後		2			1					
	測量学2	3前		2		1						
	橋梁工学	3後		2		1						
	構造の力学2	3後		2		1						
	都市計画	3後		2		1						
	建築設備設計	2前		2								
	構造実験	2前		2		1						
	室内環境デザイン	2後		2			1					
	建築史	2後		2		1						
	景観デザイン演習	3前		2		1						
	構造設計演習	3前		2		1						
	システム解析	3前		2								
	測量実習	3前		2		1						
	建築デザイン演習	3前		2			1					
	建造物の維持管理	3前		2			1					
	コンストラクションマネジメント	3前		2		1						
	会計総論	3前		2								
	建築計画	3後		2		1						
	木造建築設計	3後		2								
	公共経済学	3後		2								
	経営組織論	3後		2								
	防災システム計画	3後		2		1						
	建築スタジオ演習	3後		2			1					
	ファシリティマネジメント	3後		2		1						
	土質力学	3後		2		1						
	社会システム経営	3後		2								
リモセンとGIS	4前		2		1							
建築デザイン特論	4前		2			1						
居住環境整備計画	4後		2		1							
景観デザイン特論	4後		2		1							
耐久・疲労設計	4後		2		1							
建築法規	4後		2									
卒業研究	4通		8		4	2						

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	237		237	[]	246 [9]	[]	246 [9]	

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替として「哲学への誘い」を追加(21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替として、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{2}{237} = 0.00$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

2-2 <環境理工学群>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一 般 科 目	検証：日本の都市	1前・後		1								
	都市問題	1前・後		1								
	人権問題	1前・後		1								
	日本国憲法	1前		2								
	地域共生概論	1前		2								
	文化としての戦略と戦術	1後		2								
	現代日本社会における音楽											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2								
	歴史と人間	1・2・3後		2								
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2								
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2								
	21世紀の社会学	1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	基礎心理学	1前・後		2								
	教育社会学	1・2・3後		2								
	技術者倫理	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	問題発見と解決の技法	1・2・3後 前・後		2								
	哲学への誘い											放送大学科目の閉講に伴い科目 変更及び科目の効果的配置によ る開講時期の変更(21)
	自己を見つめる	1・2・3後 前・後		2								
	社会福祉入門	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人文地理学	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	世界の名作を読む	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人類の歴史・地球の現在	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	道徳教育論	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	21世紀の女性と仕事	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	日本語表現法	1・2・3後 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	初歩のアラビア語	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加(21)
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	体育理論	1前・後		1								
	体育実技	1前・後		1								
	文化としての日本のうた	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	考古学研究	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	人文科学特別講義 1	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	知的財産権と特許	3前		2								
	国際協力フロンティア	1後		2		1						
	技術と安全	2前		2								
	Reading/Listening 1	1前		1								
	Reading/Listening 2	1前		1								
	Science English	1後		1								
	Science Lab	1後		1								
	Thinking in English 1	2前		1								
	Thinking in English 2	2前		1								
	Science Reading1	2後		1								
	Science Reading2	2後		1								
	Global Citizen	3前		2								
	Business/TOEIC English	3前		2								
	Technical Reading	3後		2								
	Technical Presentation/Writing	3後		2								
	スタディスキルズ 1	1前		2								
	スタディスキルズ 2	1後		1								
	キャリア・プラン 1	3通		1								
	キャリア・プラン 2	3後		1								
チャレンジポイント 1	1・2・3通		1									
チャレンジポイント 2	1・2・3通		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	教養の物理学1	1前		2			1					担当教員（兼任）の退職に伴う専任教員の追加 (21) 教育課程充実のため科目を追加 (21) 「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21) 教育課程充実のため科目を追加 (21) 放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21)
	教養の物理学2	1前		2		1						
	現代化学の基礎	1後		2		1	1					
	生命科学	1後		2			1					
	口腔科学	1前		2								
	応用化学概論	2後		2		1	1					
	ヒトの生物学	2後		2		1						
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2								
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2								
	身近な統計	1・2・3後		2								
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2								
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2								
	バイオサイエンスで豊かな暮らし											
	生物学の歴史	1・2・3後		2								
	変化する地球環境	1・2・3後		2								
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2								
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2								
	基礎数学1	1前		1								
	基礎数学2	1前		1								
	基礎数学演習	1前		1								
	数学1	1前・後		2								
	数学2	1前・後		2								
	数学3	1前・後		2								
	数学4	1前・後		2								
	数学5	2前		2								
	数学6	2前		2								
	数学7	2後		2								
数学8	2後		2									
コンピュータリテラシー	1前		2			1						
情報科学1	1前		2		1							
情報科学2	1後		2		1							
情報科学3	1後		2		2							
専門科目（工学系共通）	力学基礎	1前		2			2				内閣府の事業に合わせ名称変更 (21)	
	力学	1前		2								
	電気回路基礎	1前		2								
	地域活性化システム論I											
	地域再生システム論I	1前		2								
	工学概論	2前		2		3						
	電磁気学基礎	2前		2			1					
	電子回路基礎	2前		2								
	地球科学概論	2前		2			1					
	技術開発概論	2前		2		1						
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2								
	インターンシップ	3後		2		1						
	地域再生システム論II	3後		2								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	基礎化学	1前		2			1				
	生物材料概論	1前		2		1					
	現代物理学基礎	1前		2		1					
	有機化学序論	1後		2		1	1				
	細胞生物学	1後		2			1				
	物理化学	2前		2		1	1				
	無機化学	2前		2		1					
	環境熱科学	2前		2			1				
	セミナー1	2後		2		10	6				
	物理学実験	2後		2		5	2				
	企業見学	3前		1		1					
	生物化学実験	3前		2		4	3				
	セミナー2	4前		2		9	6				
	セミナー3	4後		2		9	6				
	環境概論	1後		2		1					
	有機化学	2前		2		1					
	生化学	2前		2		1					
	材料の科学	2前		2		1					
	計測と解析	2前		2		1					
	先進科学への招待	2後		2		10	6				
	高分子科学	2後		2							
	生物工学概論	2後		2			1				
	分子遺伝学	2後		2		1					
	材料の構造	2後		2		1					
	材料技術史	2後		2							
	地球の活動と資源形成	2後		2		1					
	界面科学	3前		2			1				
	生物環境工学	3前		2			1				
	ナノ材料設計	3前		2		1					
	量子力学基礎	3前		2		1					
材料プロセスと環境	3前		2		1						
ライフサイクルアセスメント	3前		2								
生体生理化学	3後		2		1						
食品工学	3後		2		1						
エネルギービーム工学	3後		2		1						
物質循環システム	3後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (化学・生命科学)	醸造工学	3後		2		1						
	酵素工学	3後		2			1					
	蛋白質工学	3後		2		1						
	分析化学	3後		2								
	遺伝子工学	3後		2		1						
	真核分子生物学	3後		2		1						
	卒業研究	4通		8		4	2					
専門科目 (ナノ・物質科学)	材料強度の原子論	3後		2		1						
	結晶物理学	3後		2		1						
	半導体工学	3後		2								
	固体物性	3後		2			1					
	統計物理	3後		2			1					
	量子と光	3後		2		1						
	卒業研究	4通		8		4	2					
専門科目 (環境科学)	環境化学	3後		2			1					
	環境の物理学	3後		2		1						
	環境材料学	3後		2		1						
	水圏環境工学	3後		2		1						
	生物資源科学	3後		2			1					
	エネルギー工学	3後		2								
	野外環境実習	3後		1		1	2					
	卒業研究	4通		8		4	4					

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	149		149	[]	158 [9]	[]	158 [9]	

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替として「哲学への誘い」を追加(21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替として、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{2}{149} = 0.01$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

2-3 < 情報学群 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	検証：日本の都市	1前・後		1								
	都市問題	1前・後		1								
	人権問題	1前・後		1								
	日本国憲法	1前		2								
	地域共生概論	1前		2								
	文化としての戦略と戦術	1後		2		1						
	現代日本社会における音楽											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2								
	歴史と人間	1・2・3後		2								
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2								
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2								
	21世紀の社会学	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	基礎心理学	1前・後		2								
	教育社会学	1・2・3後		2								
	技術者倫理	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	問題発見と解決の技法	1・2・3前・後		2								
	哲学への誘い											放送大学科目の閉講に伴い科目変更及び科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	自己を見つめる	1・2・3前・後		2								
	社会福祉入門	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人文地理学	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	世界の名作を読む	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	人類の歴史・地球の現在	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	道徳教育論	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
21世紀の女性と仕事	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)	
日本語表現法	1・2・3前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	初歩のアラビア語	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加(21)
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	中国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後 1・2・3 前・後		2								科目の効果的配置による開講時期の変更(21)
	体育理論	1前・後		1								
	体育実技	1前・後		1								
	文化としての日本のうた	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	考古学研究	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	人文科学特別講義 1	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)
	知的財産権と特許	3前		2		1						
	国際協力フロンティア	1後		2								
	技術と安全	2前		2								
	Reading/Listening 1	1前		1		1						
	Reading/Listening 2	1前		1		1						
	Science English	1後		1								
	Science Lab	1後		1								
	Thinking in English 1	2前		1								
	Thinking in English 2	2前		1								
	Science Reading1	2後		1								
	Science Reading2	2後		1								
	Global Citizen	3前		2								
	Business/TOEIC English	3前		2		1						
	Technical Reading	3後		2								
	Technical Presentation/Writing	3後		2								
	スタディスキルズ 1	1前		2								
	スタディスキルズ 2	1後		1								
	キャリア・プラン 1	3通		1								
	キャリア・プラン 2	3後		1								
チャレンジポイント 1	1・2・3通		1									
チャレンジポイント 2	1・2・3通		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	教養の物理学1	1前		2								担当教員（兼任）の退職に伴う専任教員の追加 (21) 教育課程充実のため科目を追加 (21) 「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21) 教育課程充実のため科目を追加 (21) 放送大学科目の閉講に伴い科目変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21) 教育課程充実のため開講時期を変更 (21)
	教養の物理学2	1前		2								
	現代化学の基礎	1後		2								
	生命科学	1後		2								
	口腔科学	1前		2								
	応用化学概論	2後		2								
	ヒトの生物学	2後		2								
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2								
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2								
	身近な統計	1・2・3後		2								
	科学的な見方・考え方	1・2・3後		2								
	技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2								
	バイオサイエンスで豊かな暮らし											
	生物学の歴史	1・2・3後		2								
	変化する地球環境	1・2・3後		2								
	宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2								
	物質の科学と先端技術	1・2・3後		2								
	基礎数学1	1前		1								
	基礎数学2	1前		1								
	基礎数学演習	1前		1								
	数学1	1前・後 1前		2								
	数学2	1前・後 1前		2								
	数学3	1前・後 1後		2								
	数学4	1前・後 1後		2								
	数学5	2前		2								
	数学6	2前		2								
数学7	2後		2									
数学8	2後		2									
コンピュータリテラシー	1前		2		1							
情報科学1	1前		2				1					
情報科学2	1後		2				1					
情報科学3	1後		2				1					
専門科目（工学系共通）	力学基礎	1前		2							内閣府の事業に合わせ名称変更 (21)	
	力学	1前		2								
	電気回路基礎	1前		2								
	地域活性化システム論Ⅰ											
	地域再生システム論Ⅰ	1前		2								
	工学概論	2前		2		1		1				
	電磁気学基礎	2前		2								
	電子回路基礎	2前		2								
	地球科学概論	2前		2								
	技術開発概論	2前		2								
	マルチメディアプレゼンテーション	2後		2								
	インターンシップ	3後		2		1						
	地域再生システム論Ⅱ	3後		2								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	情報学群ガイダンス	1前		2		7	2	5			
	応用コンピュータリテラシー	1前		2				1			
	情報代数	1前		2		1					
	情報と倫理	1前		2		1					
	通信網概論	1前		2		1					
	計算機システム	1前		2		1					
	離散数学	1後		2		1					
	情報メディア概論	1後		2				1			
	感覚・神経生物学	2前		2							
	計算機言語	2前		2				1			
	情報と職業	2前		2		1					
	信号理論基礎	2前		2			1				
	オートマトンと形式言語	2前		2				1			
	情報理論基礎	2前		2		1					
	アルゴリズムとデータ構造	2前		2				1			
	知覚と認識	2後		2		1					
	画像処理	2後		2		1					
	数値計算法	2後		2		1					
	映像音響メディア	2後		2		2					
	通信方式	2後		2		1					
	論理回路	2後		2		1					
	認知心理学	3前		2		1		1			
	ウェブメディア	3前		2				1			
	パターン認識と理解	3前		2				1			
	情報セキュリティ	3前		2		1					
	計算機ネットワーク	3前		2				1			
	アナログ・デジタル通信	3前		2			1				
	計算機アーキテクチャ	3前		2		1					
	符号理論	3前		2		1					
	データベースシステム	3前		2			1				
	ソフトウェア工学	3後		2				1			
	人工知能基礎	3後		2				1			
	HCI概論	3後		2			1				
	学習と推論	3後		2							
	脳情報学	3後		2							
	メディアコミュニケーション	3後		2		1					
	コンピュータグラフィックス	3後		2		1					
	情報ネットワーク設計	3後		2		1					
	ワイヤレスアクセスネットワーク	3後		2			1				
	オペレーティングシステム	3後		2				1			
コンパイラ	3後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	情報学群実験第1	2前		2			1	1				
	情報学群実験第2	2後		2				2				
	情報学群実験第3 i	3前		2			1					
	情報学群実験第4 i	3前		2			1					
	情報学群実験第3 C	3前		2					2			
	情報学群実験第4 C	3前		2					2			
	情報学群セミナー	3前		2		1						
	情報学群特別講義	4前		2		1						
	プロジェクト研究1	4前		2		7	2	5				
	プロジェクト研究2	4前		2		7	2	5				
	プロジェクト研究3	4後		4		7	2	5				
	卒業研究	4通		8		7	2	5				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	144		144	[]	153 [9]	[]	153 [9]	

(3) 未開講科目

該当はありません

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替として「哲学への誘い」を追加(21)
2	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替として、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{2}{144} = 0.01$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

6 その他全般的事項

6-1 <システム工学群>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当はありません	

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。

この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1(2ヶ月間)は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。

① 実施体制

a 委員会の設置状況／b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)／c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」／「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して75%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

「教育セミナー」／「研究セミナー」

それぞれ年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバックを行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

なお、授業評価結果・研究活動・社会貢献を加味した教員評価によって、昇進、昇給が決定される。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

従来の大学の工学部では、機械、電子、建築土木という工学の基幹である3分野が学科制として独立している。本学群はこれらの3分野を包含することで、ものづくりの基本となる共通の自然法則や原理を広い視野から俯瞰できる技術者の育成が本学群の特長である。本年は開設年度ということもあり、設置の趣旨・目的の達成にむけて努力を開始したばかりである。

学外での宿泊オリエンテーションの実施に始まり、個々の授業においても、上記の3分野を意識させながら、同時に共通概念の理解が進むような教育を展開している。今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。本年度その予定であり、これを元に2度目の認証評価を受ける予定である。なお、前回の認証評価の結果は本学ホームページで公表している。

b 公表方法

- ・「高知工科大学自己点検・評価報告書 ー大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関で認証評価を受ける予定であったが、公立大学法人への設置者変更、及び工学部の再編（届出）等があったため、認証評価機関と相談の上、平成24年度に第2回目の評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/houzin/pdf/ninka/system-todokede.pdf)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/ninka.htm)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

6 その他全般的事項

6-2 <環境理工学群>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当はありません	

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。

この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1(2ヶ月間)は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。

① 実施体制

a 委員会の設置状況 / b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) / c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して75%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

それぞれ年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバックを行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

なお、授業評価結果・研究活動・社会貢献を加味した教員評価によって、昇進、昇給が決定される。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年は開設年度ということもあり、設置の趣旨・目的の達成にむけて努力を始めた状況である。カリキュラム構成の年次構成が、従前の理工系学部のカリキュラムと大きく異なり、1-2年次において、化学、生物学、物理学、地球科学など自然科学全体の素養を身に付け、3年次以降の応用、専門分野を深く学ぶための基礎力の修得を目指し、指導を行っている。また、全学共通の履修システムの改定により、多様な科目の履修が可能となったため、学生は進級するにつれ、幅広い分野あるいは学際領域にも接することが可能となった。

また、地域の高等学校等との連携教育プログラムは、過去の実績を発展的に継続するために仕組み、方法の検討を始めた。今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。本年度その予定であり、これを元に2度目の認証評価を受ける予定である。なお、前回の認証評価の結果は本学ホームページで公表している。

b 公表方法

- ・「高知工科大学自己点検・評価報告書 ー大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関で認証評価を受ける予定であったが、公立大学法人への設置者変更、及び工学部の再編（届出）等があったため、認証評価機関と相談の上、平成24年度に第2回目の評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/houzin/pdf/ninka/system-todokede.pdf)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/ninka.htm)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

6 その他全般的事項

6-3 <情報学群>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当はありません	

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。

この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1(2ヶ月間)は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。

① 実施体制

a 委員会の設置状況 / b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) / c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して75%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

それぞれ年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバックを行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

なお、授業評価結果・研究活動・社会貢献を加味した教員評価によって、昇進、昇給が決定される。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年は開設年度ということもあり、設置の趣旨・目的の達成にむけて努力を始めた状況である。計画通り、1年次から専門科目を履修できる体系的な4年間一貫のカリキュラムを編成し、大学共通科目及び専門科目を連携した講義を開講している。

また、学外での宿泊オリエンテーションも実施し、少人数教育の充実に向け良いスタートができていいる。同時に、学年担任の教員に加えて、主としてスタディスキルズ等の導入教育を担当する教育講師を副担任教員として任命し、学生一人一人と個人面談を実施し、きめ細やかな学修指導体制を構築しつつある。今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。本年度その予定であり、これを元に2度目の認証評価を受ける予定である。なお、前回の認証評価の結果は本学ホームページで公表している。

b 公表方法

- ・「高知工科大学自己点検・評価報告書 ー大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関で認証評価を受ける予定であったが、公立大学法人への設置者変更、及び工学部の再編（届出）等があったため、認証評価機関と相談の上、平成24年度に第2回目の評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/houzin/pdf/ninka/system-todokede.pdf)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/ninka.htm)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。